

記事広告	2
アクセル、ジップQ&A	
記事広告	6
ハングレー対応新ラバー「レナノス」	
新製品紹介	10
2007年 ニッタク秋の展示会	
大会記録	12
アジア選手権大会	
<b>グラビア</b> 特集	14
第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」	
大会ハイライト	18
第74回全日本学生選手権大会	
大会ハイライト	22
スポレクあおもり2007	
大会記録	24
全日本選手権大会(団体の部)	
大会記録	25
東アジアホープス大会	
日本の肖像	26
齋藤 健(新発田ジュニアオーナー)	
この人のこの言葉	28
藤井基男(卓球愛好家)	
練習のヒント	30
織部幸治(ITS三鷹代表)	
アスリート養成講座	32
永井義人(アスリートトレーナー)	
アープでワーブ	33
山中教子(サウンド球貴代表)	



10月23日、日本と韓国のラージボール交流会が行われ、写真は参加メンバー

マンガ	34
花丸たつきゅう/高橋達央	
大会ハイライト	38
第2回日中草の根交流大会	
ピンポン東西南北	39
第5チャンネル	40
各地レポート	42
ユーアイ祭り	49
各地ラージボール大会	50
全国ラージ案内	52
3県交流会	53
ニッタク講習会	54
TTC浦和卓球場オープン	55
みんなのコーナー	56
編集室	56

## Message

10月22日(月)～25日(木)まで韓国・ソウル市を訪問した。

現地では、ラージボールの交流会と大会に参加、片言の日本語と韓国語、英語などで交流を深めた。

今回訪問したのは、ラージボールの第一人者、石塚健三郎先生、平井建昭さん、沼尾憲弥さん、啓子さんご夫妻、村山正毅さん、村上カプロ、高野洋一さん、矢野匡宣さん、村上富貴さん、佐藤素子さんの10名にニッタクから6名、計16名。

5月にも訪れ、講習会を開催、この時は韓国全土から選抜された50名の方が参加してくれた。この時は、昼は講習会、交流会、夜はカラオケと、疲れを知らない韓国選手のパワーに圧倒されたが、今回も開会式の時に行

われたカラオケ大会には一同驚いた。

大会には、韓国全土から700名が参加、そのうち60歳代の方が7割と日本と同様にその年代の人たちが多かった。

今回は、来年3月21日(金)～23日(日)までソウル市の隣にある富川市で開催される第1回日本・韓国生活体育ラージボール大会(協賛・ニッタク)の前哨戦という位置づけだったが、元エリート代表や国体代表選手なども参加し、レベルの高い選手も少なくなかった。

来年の大会は、年代別による団体ダブルス(男2人、女2人)、男女ダブルス、男女シングルの5種目で行われ、韓国から1000人が参加の予定となっている。

日本のラージボール愛好者の方々の参加をお待ちしております。  
(片野)